

教育訓練事例編

～人材を人財(財産)に育てよう～

雇用型農業法人の中には、人への投資、つまり従業員の教育や能力養成に力を入れる経営が増えてきています。自ら問題意識を持って仕事ができる人材をめざして、能力や意識の向上を図る取り組みがなされています。今回は、県内外の農業法人で行われている教育訓練事例を紹介します。

1 O J T (On the Job Training)

O J Tとは、農場で従業員に具体的な仕事を与えて、仕事を通じて必要な知識・技術などを指導し習得させることです。日常作業の技能養成は、大部分がO J Tで行われます。

ひと工夫事例

- ・メモをとらせる（作業指示、ほ場の特徴など）
- ・オペレーター講習で若手とベテランを交流させる
- ・生育調査をさせる



2 O f f - J T (Off the Job Training)

O f f - J Tとは、農場を離れて行う教育訓練のことです。O f f - J Tで仕事の基礎や理論を学び、学んだことをO J Tで実践・応用して能力を高めます。具体的には、普及センターや農業大学校等が開催する研修会を受講させたり、様々な資格を取得させたりします。

ひと工夫事例

- ・農機具展示会に若い人を行かせる
- ・多様な資格(農産物検査員、食味鑑定士)を取得させる
- ・ヘルメットに資格取得がわかるシールを貼付する



3 新人教育

新採用の従業員が意欲を持って仕事にやりがいを感じ、また即戦力となるよう、新人教育が行われています。

ひと工夫事例

- ・新入社員は入社後1年間は30分早出して役員と打合せする
- ・1年目は担当を持たず、すべての仕事を経験させる
- ・他法人で研修した後、地元の法人に就農



4 対人能力

社内やお客様との信頼関係を築くためにはコミュニケーションは必須です。日常のあいさつ、習う、教える、報告・連絡・相談など、コミュニケーション力を上げると業務の効率向上につながります。

ひと工夫事例

- ・名刺を持たせる
- ・講師を呼んで名刺交換や来客対応の講習会を行う
- ・先輩従業員とチームを組み、地主と交渉させる



5 後継者育成

後継者に思い切って仕事を任せ、自分の責任と権限において自主性を持った仕事ができるようにします。特に予算、収支の管理を任せられると、経営センスが醸成されます。

ひと工夫事例

- ・黙って任せる、それを先輩従業員にも指示する
- ・限度金額内でお金の管理を任せる
- ・新しい取り組みの申請を任せる(GAP、6次化)



6 マニュアル作成

マニュアルを作成すると、業務の標準化と効率化ができます。1年に1回しか乗らない機械や複数の人が乗る機械には、トラブル時の対応マニュアルがあると能率が上がります。

ひと工夫事例

- ・農機具にA4サイズ1枚の簡易マニュアルを作成する
- ・JGAP取得を機会に担当者にマニュアルを作成させる
- ・機械の故障修理台帳を整備する



7 5S

5Sとは、「整理、整頓、清掃、清潔、しつけ」の頭文字の五つのSです。5Sを促進すると、物が整理されて作業の効率上がり、やる気がアップする効果があります。

ひと工夫事例

- ・GAPに従って整理する
- ・入社後、全員で事務所の掃除をする
- ・農機具は使用前と同じになるまで洗う



以上、事例を紹介しましたが、人材育成は従業員定着、農作業安全、経営発展につながります。できるところから取り組んでみましょう。取り組みについて相談したい方は、お気軽に最寄りの普及指導センターにお声がけください。

○引用文献

農業法人における職場を働きやすくするための取組事例集 平成29年3月新潟県農業総合研究所

【経営普及課 農業革新支援担当 牛腸 奈緒子】